

バリアフリー整備・徴収計画

鉄軌道事業者名	阪急電鉄株式会社
---------	----------

整備方針	
全期間	<ul style="list-style-type: none"> お客様に安心してご利用いただけるよう、ホーム保安度の向上を目的として可動式ホーム柵ならびに固定式ホーム柵およびホームと車両の段差隙間解消に資する設備を整備する。 中津駅のバリアフリー設備（エレベーター）を整備する。 大阪梅田駅茶屋町口改札口のバリアフリー設備（エレベーター）を整備する。 車両のフリースペースを整備する。 各駅に設置のエスカレーター、エレベーターの更新を行う。
2021～2025年度	<ul style="list-style-type: none"> お客様に安心してご利用いただけるよう、ホーム保安度の向上を目的として可動式ホーム柵ならびに固定式ホーム柵を整備する。 車両のフリースペースを整備する。 各駅に設置のエレベーター、エスカレーターの更新を行う。
2026～2030年度	<ul style="list-style-type: none"> お客様に安心してご利用いただけるよう、ホーム保安度の向上を目的として可動式ホーム柵ならびに固定式ホーム柵およびホームと車両の段差隙間解消に資する設備を整備する。 中津駅のバリアフリー設備（エレベーター）を整備する。 大阪梅田駅茶屋町口改札口のバリアフリー設備（エレベーター）を整備する。 車両のフリースペースを整備する。 各駅に設置のエレベーター、エスカレーターの更新を行う。
2031～2035年度	<ul style="list-style-type: none"> お客様に安心してご利用いただけるよう、ホーム保安度の向上を目的として可動式ホーム柵ならびに固定式ホーム柵およびホームと車両の段差隙間解消に資する設備を整備する。 大阪梅田駅茶屋町口改札口のバリアフリー設備（エレベーター）を整備する。 車両のフリースペースを整備する。 各駅に設置のエレベーター、エスカレーターの更新を行う。

料金額				
券種	定期外		定期券	
	普通券 (磁気券)	普通券 (IC)	通勤定期券	通学定期券
設定額 (円)	10	10	※1	-
年間徴収額 (百万円)	2,568百万円 ※2		1,166百万円	-
料金徴収 対象駅	全86駅（神戸高速線内除く）			
備考	※1：1か月380円、3か月1,080円または1,090円、6か月2,050円または2,060円 ※2：普通回数券、団体乗車券、貸切乗車券、一部の企画乗車券を含む 鉄道駅バリアフリー料金を加算した運賃に関する詳細は、別途通知する。			

※普通券の設定額については、大人1乗車当たりの料金を記載すること。

※定期券の設定額については、全ての定期券料金から算出した1乗車当たりの平均額を記載し、備考欄に各期間別（1か月・3か月・6か月など）の料金を記載すること。

※回数券や企画乗車券などの券種から徴収する場合は、備考欄に該当する券種名を記載するとともに、定期外の年間徴収額に該当する券種からの年間徴収額も含めて記載すること。

年間徴収額	3,734	百万円
徴収期間	13	年間（2023.4.1～2036.3.31）※2036年度以降も継続予定
総徴収額	48,541	百万円
総整備費	130,294	百万円
	2025年度までの実績(計画)：18,320百万円 2026～2030年度の計画：62,031百万円 2031年度以降の計画：49,943百万円	

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2021.4～2026.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
可動式ホーム柵	8 駅	24 番線	11,353 百万円
固定式ホーム柵	14 駅	25 番線	1,835 百万円
エレベーター	0 駅	0 基	0 百万円
バリアフリースイレ	2 駅	2 ヶ所	14 百万円
車両のフリースペース	3 編成	24 両	41 百万円
その他		各 駅	325 百万円*
備考	*バリアフリー化に向けた測量・設計（中津）、調査検討（大阪梅田）等		
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
エレベーター	12 駅	20 基	1,096 百万円
エスカレーター	11 駅	38 基	1,593 百万円
その他		各 駅	21 百万円*
備考	*エレベーター遠隔監視装置設置工事、構内エスカレーター緩停止機能付加工事等		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附帯費用含む）	1,808	百万円*	
収受システム改修費	49	百万円	
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	185	百万円	
備考	*可動式・固定式ホーム柵・エレベーター・エスカレーター・点状ブロック等の維持管理等		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

計画期間内の整備費（（1）～（3）の合計）	18,320 百万円
-----------------------	------------

計画期間内の料金徴収による可動式ホーム柵設置番線数・段差解消駅数		
可動式ホーム柵設置番線数	24	番線

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2026.4～2031.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
可動式ホーム柵	35 駅	87 番線	50,677 百万円※1
固定式ホーム柵	3 駅	6 番線	927 百万円
エレベーター	2 駅	6 基	5,361 百万円※2
車両のフリースペース	17 編成	116 両	192 百万円
備考	※1：ホームと車両の段差隙間縮小に資する設備の整備費を含む ※2：中津駅バリアフリー化工事費および大阪梅田駅茶屋町口改札口のエレベーター設置費を含む		
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
エレベーター	9 駅	15 基	563 百万円
エスカレーター	17 駅	48 基	1,368 百万円
備考			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費	2,943	百万円	*
収受システム改修費	-	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	-	百万円	
備考	* 維持管理費：エレベーター、エスカレーター、可動式ホーム柵等		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

計画期間内の整備費（(1)～(3)の合計）	62,031 百万円
-----------------------	------------

計画期間内の料金徴収による可動式ホーム柵設置番線数・段差解消駅数			
可動式ホーム柵設置番線数	87	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	1	駅
	二経路以上確保駅	1	駅

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2031.4～2036.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
可動式ホーム柵	33 駅	88 番線	43,784 百万円※1
固定式ホーム柵	0 駅	0 番線	0 百万円
エレベーター	1 駅	1 基	400 百万円※2
車両のフリースペース	11 編成	88 両	132 百万円
備考	※1：ホームと車両の段差隙間縮小に資する設備の整備費を含む ※2：大阪梅田駅茶屋町口改札口のエレベーター設置費を含む		
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
エレベーター	各駅※3		1,125 百万円
エスカレーター	各駅※3		1,425 百万円
備考	※3：設備の状態に応じて順次更新予定		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費	3,077	百万円	*
収受システム改修費	-	百万円	※4
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	-	百万円	※4
備考	* 維持管理費：エレベーター、エスカレーター、可動式ホーム柵等 ※4：2036年度以降の本制度活用の継続について検討予定のため、本制度終了時に必要となる収受システム改修費およびその他費用について、本様式には計上していない。		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

計画期間内の整備費（(1)～(3)の合計）	49,943 百万円
-----------------------	------------

計画期間内の料金徴収による可動式ホーム柵設置番線数・段差解消駅数			
可動式ホーム柵設置番線数	88	番線	
段差解消駅数	1	駅	二経路以上確保駅